

令和3年 第1回理事会

日時：令和3年7月3日 13：30～17：30

場所：平成医療短期大学、対面+オンライン（ZOOM）

対面出席者：須貝会長、君垣氏、山河氏、森島氏、宮園氏、中島氏、安井氏、
宇佐美氏、廣瀬^武氏、林^節氏、吉田氏、国枝氏、加藤氏、田原氏、藤井氏
ZOOM出席者：原氏、鈴木氏、柴氏、古桧山氏、寺倉氏、奥谷氏

会長（須貝）

■第1回岐阜県多食種連携研究会（報告）

日時：令和3年4月11日 9：30～14：05

場所：朝日大学医科歯科医療センター及びWeb（ハイブリッド）

参加者：森島氏、須貝会長

■47都道府県委員会（報告）

日時：令和3年6月12日 9：00～16：00

場所：オンライン

参加者：山河氏、加藤氏、藤井氏、須貝会長

内容：①新たな倫理委員会の設置 ②広報部からの報告 ③「協会員=士会員」実現に向けた検討委員会からの報告 ④コロナ禍における士会活動の工夫 ⑤コロナ禍における今年度の士会運営の在り方について ⑥協会組織体制について

次回：9月4日オンライン開催予定

■各務原市との連携協定締結式：岐阜リハ協議会（報告）

日時：令和3年5月21日 15：00～16：00

場所：各務原市役所

参加者：柴監事、須貝会長

内容：各務原市における高齢者の健康寿命延伸に向けたリハ専門職との連携協定

■岐阜新聞社面談（報告）

日時：令和3年6月27日 15：00～16：00

場所：平成医療短期大学

参加者：山河氏、加藤氏 須貝会長

内容：①キッズタウンぎふ開催要件について

※キッズタウンぎふ開催日 8月21日（土）～22日（日）

■第 25 回岐阜県作業療法学会（報告）

学会長：廣瀬 武氏（サンビレッジ国際医療福祉専門学校）

日時：令和 4 年 6 月 19 日

場所：大垣市情報工房

→東海北陸作業療法学会=令和 5 年岐阜県開催予定…学会長=加藤清人氏

■岐阜県作業療法士連盟への寄付金について（提案・相談）

岐阜県作業療法士連盟創設=会長：君垣氏

検討事項：年 5 万円を寄付してはどうか？

- ・連盟活動資金の確保が必要
- ・衆議院選挙ではリハ職の出馬は今のところないため、参議院選挙を視野に 3 年ごとに参議院選挙あり、リハ職出馬への支援活動（政治パーティーの参加など）、岐阜県理学療法士連盟との連携
- ・活動内容など情報収集が必要

広報部：会員向け（田原）

■次号ごったに 102 号

発送日：令和 3 年 8 月 26 日

掲載内容①表紙②巻頭言③県士会活動報告ページ④私の職場の強み⑤特集記事⑥岐阜県リハビリテーション協議会便り⑦裏面（Gene 広報、ひまわり求人募集記事、機関紙編集部論文募集、広報部連絡事項）

■新人紹介について（相談）

新人紹介該当者がいれば連絡ください。

広報部：一般向け（奥谷）

キッズタウンぎふへ参加されるキッズ向けにノベルティーの作成をしたほうが良いか？

→事業部吉田氏と相談

事業部（吉田）

■高校生オンラインリハビリ見学会（高校生一日体験）

高校生オンラインリハビリ見学会の日程

第1回 8月3日 10時～ 山田メディカルクリニック（PT・OT）

高校生募集人数：5～7名、現在応募数0名

第2回 8月4日 13時～ 近石病院（PT・OT・ST）

高校生募集人数：5～7名、現在応募数3名

第3回 8月5日 10時～ 山田メディカルクリニック（PT・OT）

高校生募集人数：5～7名、現在応募数0名

第3回 8月6日 10時～ 近石病院（PT・OT・ST）

高校生募集人数：5～7名、現在応募数1名

第3回 8月10日 13時30分～ 岩砂病院（PT・OT・ST）

高校生募集人数：5～7名、現在応募数1名

第3回 8月13日 13時30分～ 岩砂病院（PT・OT・ST）

高校生募集人数：5～7名、現在応募数1名

第3回 8月16日 13時30分～ 各務原リハビリテーション病院病院（PT・OT・ST）

高校生募集人数：5～7名、現在応募数2名

各県士会 HP に高校生オンラインリハビリ見学会の HP を掲載されていますが、上記のように応募数が少ない状況。

■キッズタウンぎふについて

収容人数：第1部は9時～13時（年長～小学3年）120名+保護者

第2部は14時～18時（小学4年～6年）240名（保護者は観覧席）

体験内容：未定→7月5日までに体験内容を主催者に報告

昨年作成したノベルティーがまだ余っているため、今年配布する。

機関紙編集部（宇佐美）

1) 会員向け広報方法

投稿期日、投稿方法をまとめ施設ごとに配布する。

2021年度学会発表者へ投稿依頼する

2) 様式の見直しと査読候補者の選定と名簿作成

理事の変更後も利用できるように整備していく。

地域リハ推進部（藤井）

■地域包括ケアシステム構築に向けたリハ専門職の人材育成に関わる研修会

令和3年度第一回会議

日時：令和3年6月28日（月） Web 18：30～20：00

出席者（主導メンバー）：PT)岸本，今井，鶴飼，中津，久保田，江頭
OT)坪内，平光 ST)村瀬

1) 昨年度からの変更点

(1) 岐阜県リハビリテーション協議会人材育成・医療福祉推進連携強化事業

今年度より，以下を岐阜県医療福祉連携推進課委託事業として開催する．

a. 地域包括ケアシステム推進研修会（責任者：PT 鶴飼，OT 坪内）

旧リーダー導入研修会，アドバンス研修会を含む

研修会内容・日程等が未定

b. 訪問リハビリテーション実務者研修会（責任者：OT 平光）

c. リハビリテーション情報共有研修会（責任者：PT 今井）

d. 言語障害リハビリテーション研修会（責任者：PT 村瀬）

(2) 岐阜県高齢福祉課補助金事業

今年度より，各士会が独自で研修会を開催する．

(3) フレイル・災害関連研修会

昨年度は中止となったが，今年度は上記委託事業・補助金事業外で開催予定

■各務原市フレイル予防推進事業

1) 事前打ち合わせ

日時：令和3年5月17日

場所：岐阜保健大学

出席者：藤井氏、各務原市高齢福祉課職員

今年度より、高齢福祉課地域包括ケア推進室内に健康長寿係が誕生

市内のフレイル予防は、多職種が連携しポピュレーション戦略のみならず、ハイリスク戦略の良点を再考して両論を整理する

2) フレイル予防サポーター研修会

日時・場所：令和3年6月11日（金）13：30～15：30 場所：那加福祉センター

派遣者：藤井稚也（研修会講師）

令和3年7月7日（水）13：30～15：30 場所：鶴沼福祉センター

派遣者：池戸沙季（研修会講師）

3) 今後の動向

訪問C型事業や一般介護予防事業を含む総合事業へのOT派遣が見込まれる。

■地域ケア会議

- 1) 瑞穂市 開催日未定 派遣者：坪内氏
- 2) 岐南町 6～10月の期間で1回/月の頻度で開催
- 3) 大垣市
- 4) 山県市 日時不明 派遣者：未定

■地域支援事業に関する臨時研修会

日時：令和3年6月23日

出席者：藤井氏

内容：コロナ禍における地域支援事業

■今後の地域リハ推進部の予定

- 1) 7月中旬以降に第1回地域リハ推進部会議の開催
- 2) 地域リハ推進部部員の増員と会計担当の整備

生涯教育部（林節）

■生涯教育部ポイント申請について（報告）

生涯教育ポイントが現在配布されておりません。ポイントが発生する研修会におかれましては生涯教育部でまとめて申請することになっております。申請する際は統一されたエクセル表で受付をしていただく必要がございます。研修会の事前エクセルをお送りしますのでお知らせください。

■生涯教育手帳について（報告）

生涯教育手帳の以降期限が2021年9月末までとなっております。手帳以降申請がまだなスタッフがいたら声掛けをお願いします。

また、メール配信でも会員にお知らせしたいと思っておりますので文面を用意します。

■臨床実習指導者講習会（報告）

- ・会場：平成医療短期大学
- ・日時：7/10（土）7/11（日）
- ・参加者：70名（欠席3名）内訳：県内52名、会員55名、非会員12名
- ・スタッフ数：20名
- ・予算：臨床実習指導者講習会計2回で100万。7月開催分で50万弱の費用必要。

〈検討事項〉

- 1) スタッフの謝礼金は講習会中に全員振込で良いか→PAYPAY 銀行からの振り込みでよい。
- 2) 第二回の岐阜保健大学での開催分の日程
令和3年10月30日31日(土・日) 岐阜保健大学で開催
- 3) 今回の申し込み終了後、HP上に臨床実習指導者講習会の日程等が消えてしまったため、情報を残して欲しいとの依頼あり。募集は終了しても情報だけは残すことは可能か?→公開中にPDF形式の派遣依頼を掲載する。

現職者研修部 (森島)

- 1) 次回臨床実習指導者講習会の運営方法を学ぶため、部局員1名と共に参加予定。
- 2) 講師の講師費支払いは振り込みの場合、受領書(領収書)は必要か? 今後は選択研修などで他士会の講師を呼ぶことも考えられる。(相談) →振込明細でよい。
- 3) 編集制限がかかった配布資料(PDF)に作成について、無料で使用可能なソフトウェアはあるか? →紙媒体での資料配布も検討する必要あり。
- 4) 参加者のキャンセルは、「参加費を振り込みで返金する。その際、かかった手数料を引いた金額で返金することとする」として問題ないか? (相談) →返金しない
- 5) グループワーク(主にMTDLP)をオンラインで実施する場合の手段として良い方法はあるか? 現在のところ、各ブレイクアウトルームで初期が画面共有し、入力するという方法を考えている。(相談) →山田メディカルクリニックの山田氏と相談

地方局 西濃 (安井氏)

■西濃 OT2 年目オンライン歓迎会 (報告)

日時: 2021年5月21日(金) 18:30~19:45

使用ツール: ZOOM

参加者数: 15名(2年目 9名)

昨年できなかった歓迎会をオンラインで開催。互いに顔の見える関係となった。

参加者の協力もあり、終始良い雰囲気だった。今後、勉強会等に繋げていけそう。

財務部 (宮園)

1) 会計ソフト購入(報告・相談)

会計士より提案されたソフト ソリマチ株式会社「会計王 NPO 法人スタイル」
価格 44,000 を問題がなければ、会計士の先生からご提案頂いたソフトを今年の財務部の予算内で購入したい。→了解

2) PAYPAY 銀行への入金 (報告)

各部の PAYPAY 銀行口座に振り込む際にゆうちょ銀行の ATM から一旦引き出し、財務部の PAPPAY 銀行に振り込みを行い。そこからネット上の処理で財務部の口座から各部の口座に振り込むことで手数料を抑えている。

総会運営部 (国枝)

1) 令和3年度定時社員総会について (報告)

- ・日時 令和3年6月27日 (日)
- ・場所 平成医療短期大学
- ・参加者 4名 (会長、事務局長、総務部長、総会運営部長)
- ・結果 議決権を有する会員の過半数が出席したため総会は成立した。
- ・内訳 総会員数 580名 (過半数 290名)
委任状 110名 書面決議 192名 合計 306名 (参加者含め)
無効 32名

無効理由：委任状に名前が書いてあるが委任する名前に○が記載されていない
委任状・書面決議両方に名前があるが記載がない。

2) はがきの記載方法について (提案・相談)

今回無効票が多く、ギリギリ成立する形となった。

委任状の名前に○の記載がないことが多く、委任する人の名前を太字にする、波線を描くなど分かりやすくする必要がある。

事務局 (総務部・会員情報部・IT事業部) 山河

1) ホームページアクセス数 (報告)

業者の統計表示閲覧が有料 (月額 600 円) となったため、今回より掲載できなくなった。

2) 会員数 (報告)

会員数は 622 名 (6 月 25 日現在)、今年度入会者は 43 名、最近の退会者は 22 名

3) メールアドレス登録 (報告)

登録者 560 名 (89%)、送信不能者 23 名

4) 賛助会員の追加 (報告・確認)

リハビリデイサービスひまわり (高山市) 入会を承諾してよろしいか？また、今年度の広報誌広告掲載料を年会費に充当してもよいか？→いずれも了解

5) 会員名簿作成について (報告)

700 冊発注予定。1 施設 1 冊を基本とし、養成校と会員数が多い施設には複数冊とする。

名簿への氏名掲載がない場合は、名簿への掲載を希望しない会員の可能性があるので注意いただきたい。

6) 年会費の請求について（報告）

2021 年度新規入会者は 6,000 円、それ以外は 5,000 円（1,000 円分は昨年度過払い分）
8 月の広報誌・会員名簿発送時に払い込み書を同封する。

7) 5 月開催分の新人オリエンテーション動画公開について（YOUTUBE）

欠席者向けに公開する。期間は 1 年程度の予定であるが、延長あり。

<https://youtu.be/WR9ei65RalQ>

8) 新たな部局事務管理の構築について（提案）

別紙参照

学会（古桧山）

■参加者の内訳

事前参加者登録者 246 名、県内 3 養成校学生 186 名 計 432 名

有資格者の事前参加者登録内訳（県士会員 243 名、非会員及び多職種 3 名、計 246 名）

■会期中の参加者の傾向

全体の 70%が岐阜県及び不明地域であり、東京 9%、大阪府 7%、愛知県 6%長野・富山
県が各 2%、それ以外に少なくとも 13 県から訪問があった。

おおよそ、岐阜県内の学会参加者は約 300 名～350 名と予測できる。

■会計報告

1) 実行委員の活動報告開始後から約 2 年間での総支出は 210,251 円

2) 協賛金収入は 100,000 円

3) 会場費および花、垂れ幕などの装飾品、弁当代、抄録製本代はオンライン開催のため
0 円であり、会議などもオンラインでの実施であったため、交通費も 0 円であった。

備品などの購入も現地開催で行われるよりもはるかに少なくなったと思われる。

4) 予算案として、③はおおよそ 350,000～400,000 円程度の見積もりを出していたため、現
地開催であった場合の予測としてはおおよそ 550,000～600,000 円程度の経費が必要であっ
たと推測される。

■まとめ

1) 訪問者は 1095 人で、会期中に同じ PC やスマホから何回見てもそれを 1 回と数えた場
合（ユニーク訪問者数）の訪問者は 524 人であった。

2) 会期中の岐阜県内の訪問者は約 300 名～350 名と予測できた。

3) 全体の 70%が岐阜県及び不明、東京 9%、大阪が 7%、愛知が 6%、その他 16 都道府県
からログインがあった。

4) 総再生数は 1993 回であった。会期中に 2 回以上学会 HP に訪問していたのは参加者の
60%程度（314 名程度）と予測できる。

■反省及び課題

☆事務局

〈良かった点〉

- ・ ZOOM の利用により、育児休暇中でも在宅から実行委員として参加することができた。
- ・ 市民公開講座の収録が自宅で可能で、感染リスクを減らした状態で臨むことができた。
- ・ 市民公開講座に関して、実際の会場で講演をしていただくよりも、講師の先生とセラピストが意見を交わしながら内容を作っていくことができたのではないかと思う。
- ・ オンライン学会開催のため感染対策と学会開催の両立が図れた。
- ・ 打ち合わせもオンライン実施し、時間効率が良くワークライフバランスが取りやすい。

〈反省点〉

- ・ 初オンライン開催のため、すべき事やその時期が手探りで、役割分担が難しかった。
- ・ 今回の学会のみで、オンラインの活用を終わらせない方法、仕組みをつくる。
- ・ オンラインへの対応が、どの運営スタッフもできるようにする。

☆運営局

＜オンライン学会について＞

- ・ 今回の学会に関して運営局としてはほぼ負担がない形式であった。
- ・ 過去に行った学会では運営に携わり、役割をもつことで他病院とのつながりを意識できる場にもなっていたが、県士会員同士のつながりを持つ機会には至らなかった。
- ・ 演題発表者が作り上げた発表に対して対面でフィードバックを受ける機会は限られる。
- ・ 運営に予算が使われなかった分、余裕があれば県士会員への告知に予算を充ててもよかったかもしれない。

＜参加者として＞

- ・ いつでも見られる安心感がよかった。時間帯を気にせず参加できることは大変なメリット。何度でも繰り返し視聴できることもよい点。
- ・ 一方でながら視聴となり、緊張感に欠ける、改めて現場の臨場感は大事だと思った。
- ・ 学会参加のパスワードが簡易なものであったことが大変良かった。セキュリティの問題はあるかもしれないが、覚えやすいパスワードで何度も繰り返し入力が必要にもなるため、学会参加のハードルが下がった。

＜そのほか＞

- ・ オンライン学会で業務が見えにくく、学会運営に関心がある人が限られ、携わる人が孤立しやすい状況になった。
- ・ 県士会員であっても共有の意識を持っていない職員もいれば、県士会員でない職員もいる中で学会に関する仕事をどのように協力して行っていたらよいか迷った。
- ・ 精神科の演題発表がない状況となってしまったことについて反省。

☆財務局

- ・講師の先生と実際に顔を合わせての調整が難しかったため、細部の調整に関しては苦慮した。
- ・オンライン上での公開の1週間という期間は個人的にベストな時間とは思いますが、周辺では都合が合わず最後まで見られなかったという意見もあり、今後オンライン上での公開機関に関しては議論が必要であるように感じた。
- ・各講座に関しては、通常の現地開催での講座と比べて新鮮さがあり、楽しく学ぶことが出来た。
- ・オンラインだからこそ、普段は現地に来られない人などが気軽に参加できたことが、視聴者数の増加につながったと思う。実際に周辺では家庭の事情等で毎回参加できない人が今回は参加できてうれしかったという声がたくさん聞かれた。
- ・Zoomに関しては、頻回に使用したため学会のアカウント初めから作っておいても良かったと思った。

☆学会長

- ・オンライン学会であったので、技術講座・一般公開講座以外にも様々な動画のコンテンツを増やすことでプロモーションをかけることができたのではないかな。
- ・完全に古桧山個人が作ったHPであるため、パスワードの管理などには限界がある。一部分でも業者への委託を考慮すべきであった。
- ・ホームページ作成に詳しい人物がいないと運営そのものできない。

■報告・検討事項

過去のサイトがそのまま残っていると新しいサイトを作成した時に検索順位の邪魔になるため8月初旬を目処にサイトそのものを閉鎖する。

第 25 回岐阜県作業療法学会（廣瀬武）

■学会概要（報告）

令和 4 年度 6 月 19 日（日） 事前準備日 18 日（土） 18 : 30 ~

場所：大垣市情報工房

学会運営メンバー

- ・大垣徳洲会病院 吉田瑠璃先生
- ・博愛会病院 若山先生
- ・西濃病院 堀祐太郎先生
- ・大垣中央病院 國枝拓麻先生
- ・養南病院 新川麻貴先生
- ・サンビレッジ国際医療福祉専門学校 廣瀬武
- ・オブザーバー：博愛会病院 森義弘先生 大垣市民病院 須貝会長

※第 24 回岐阜県作業療法学会学会長の古桧山先生から 7 月 2 日（金）に ZOOM で引継ぎを実施。

■学会開催形式（相談）

現在、大垣市情報工房を予約し、対面での開催を予定している。今後、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない場合、Web 開催も視野に入れた方がよいか？

→ハイブリッド開催（会場とオンラインと同時開催）は経費がかかる。

※現段階では、大垣市情報工房の各スペースともに人員規制（定員の 1/2 以下）がされている。